

補助事業番号 2019M-062
補助事業名 2019年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業
補助事業者名 千葉県

1 補助事業の概要

地域の特性を活かした事業活動等の展開を促し、技術力の向上、事業基盤の強化を通じて新たな事業展開を支援するため、分析機器を導入して設備の拡充強化を図り、もって機械の振興に寄与する。

2 予想される事業実施効果

① スパーク放電発光分光分析装置の導入

検出器部分にCCDを採用することにより、測定試料中の多数の元素を同時に分析することが可能となった。また、測定できる金属の種類も当所が保有する装置よりも多いため、材料メーカーのみならず先端ものづくり産業に挑戦する中小企業への支援機能の充実が期待される。

② 熱分析装置の導入

最新の熱分析装置を導入し、正確な熱物性の測定データから得られる試料の純度、熱安定性、比熱及び可視化された熱分解時の挙動等を活かした、迅速かつ簡便で精密な分析サービスを提供することで、中小企業が抱える技術的課題解決の支援や、付加価値の向上、トラブル発生時の対応支援及び新市場参入への支援が期待される。

3 本事業により導入した設備

① スパーク放電発光分光分析装置

(<https://www.pref.chiba.lg.jp/sanken/kikisetsubi/dounyuu/r01.html>)

鉄鋼や非鉄金属に含有している元素の種類と量を調べる装置です。固体金属試料の表面にスパーク放電を行い、発生した光のスペクトルの波長と強度により、含有元素の種類と含有量を測定します。



(写真) スパーク放電発光分光分析装置

設置場所：【千葉県産業支援技術研究所（天台庁舎）】

② 熱分析装置

(<https://www.pref.chiba.lg.jp/sanken/kikisetsubi/dounyuu/r01.html>)

試料と基準物質の温度を一定のプログラムにしたがって変化させながら、試料の質量変化を測定、試料と基準物質の温度差を測定及び試料と基準物質へ流入する熱量（熱流）の差分を測定する装置です。



(写真) 熱分析装置

設置場所：【千葉県産業支援技術研究所（天台庁舎）】

③ 本事業に係る印刷物

<https://www.pref.chiba.lg.jp/sanken/kikisetsubi/dounyuu/r01.html>

HPで新規導入・更新設備を紹介しています。

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名：千葉県産業支援技術研究所

(チバケンサンギョウシエンギジュツケンキュウジョ)

住 所： 〒264-0017

千葉県千葉市若葉区加曽利町889

代 表 者： 所長 山田 満 (ヤマダ ミツル)

担当部署： プロジェクト推進室 (プロジェクトスイシンシツ)

担当者名： 主任上席研究員 足達 幹雄 (アダチ ミキオ)

電話番号： 043-231-4326

F A X： 043-233-4861

E-mail： citri-pro@mz.pref.chiba.lg.jp

U R L： <http://www.pref.chiba.lg.jp/sanken/>